



活動報告

熊本地震の被災に伴うお見舞いと、緊急支援活動のご報告



このたびの熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。今なお不自由な生活や不安を抱えていらっしゃる方も多く、皆様の安心と一日も早い復興を深くお祈り申し上げます。地震発生直後、アクロスでは、地域の障がいのある方々やそのご家族の安全と生活を守るため、緊急支援活動を立ち上げました。

発災直後の緊急支援と「日中待機場所」の開設

地震直後からの2週間は、炊き出しや入浴支援、全国から届く支援物資の搬入・分配に奔走しました。特に本震の翌々日からは、避難所での集団生活が難しい障がいのある方のための「日中待機場所」を開設しました。避難所の混雑や周囲の雑音、急激な環境変化は、障がいのある方にとって心身ともに大きな負担となります。少しでも落ち着いて過ごせる安心の場を確保することは、ご本人だけでなくご家族の負担軽減にもつながる重要な初動対応となりました。



全国の仲間と連携した「チーム支援」と個別訪問

今回の初動対応において大きな力となったのが、専門職同士の強いネットワークです。発災直後、熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会へ協力要請を行い、そこからNSK（日本相談支援専門員協会）へ打診していただきました。呼びかけに応え、福岡・佐賀・沖縄をはじめ全国各地から多くの相談支援専門員が現地へ駆けつけてくださいました。県内外の相談支援専門員がチームを編成し、以下の支援を集中的に展開しました。

個別訪問活動：県内・県外の専門員がペアやチームを組み、支援が必要な世帯を一軒一軒訪問して安否確認とニーズの把握を実施。

物資的的確な分配：全国から寄せられた温かい物資を、障がい福祉サービスを利用されているご家庭へ配布。また、物資が行き届きにくいグループホームや福祉施設の情報をもとに、車で直接お届けしました。

現在の取り組みと今後の継続支援に向けて

現在は、これまでの訪問で不在だったお宅への確認・訪問を進めています。生活環境の変化による体調の崩れや、時間の経過とともに出てくる新たな困りごとに寄り添うため、今後も継続的な状況確認と見守り支援を行ってまいります。

今回の支援活動は、熊本県協会、NSK、全国から駆けつけてくださった相談支援専門員の皆さま、そして物資や温かい声を寄せてくださったすべての方々との協働があってこそ実現できたものです。チームとして共に動いてくださった皆さま、支えてくださった地域の皆さまに、心より深く感謝申し上げます。

アクロスはこれからも、地域の相談窓口として皆さまに寄り添い、歩みを共にしてまいります。困りごとや不安なことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

【お知らせ】防災・生活情報の収集サイトについて

8月は各種行事を休止しております。災害時の緊急対応や、日常の環境変化に備え、迅速で正確な情報を得られる手段を日頃から準備しておきましょう。



八代市の公式LINEアカウントでは、台風や大雨時の避難指示、避難所の開設状況だけでなく、日々の生活に役立つ支援情報がスマホに直接届きます。

▲QRコードより、公式サイトに移ります。ご自身やご家族の携帯電話でLINEの「八代市」を検索し、あらかじめ友だち登録しておくといざという時も安心です。ぜひご活用ください。

中高生の居場所づくり

あくろスペース

開所日はこちらから確認できます▶

